

支援の限界と共に生きること

- 東北ヘルプの教訓から -

被災地は8年目を迎えました。東北ヘルプ（仙台キリスト教連合被災支援ネットワーク）は被災者及び被災地域のための活動を、教会を通して支援していく中間支援団体です。風化に抗いながら、その活動を展開してきました。その働きの総括を通して、私たちが東南海地震にどう備えるのか、学ぶ機会としたいと思います。

日時: 2018年 **10月20日(土)**

14時～16時(開場: 13時30分)

会場: 日本基督教団名古屋中央教会

名古屋市営地下鉄「栄」5出口からすぐ前。

名古屋市東区久屋町8-6 ☎ 052-971-9012

公共交通機関をご利用ください。

入場: 無料 (席上献金あり)



講師紹介 川上直哉 氏

1973年北海道生まれ。神学博士（組織神学・立教大学）。
東北ヘルプ（仙台キリスト教連合被災支援ネットワーク）事務局長
日本基督教団石巻栄光教会主任担任教師・宮城刑務所教誨師
仙台白百合女子大学カトリック研究所客員所員。
著書『被ばく地フクシマに立って』『被災後の日常から』等。

主催: 名古屋キリスト教協議会

後援: 日本キリスト教団中部教区愛知西地区災害対策委員会

東海福音フォローシップ地震委員会

東海キリスト者災害ネット

問合せ先: 東山キリスト教会(052) 762-8363